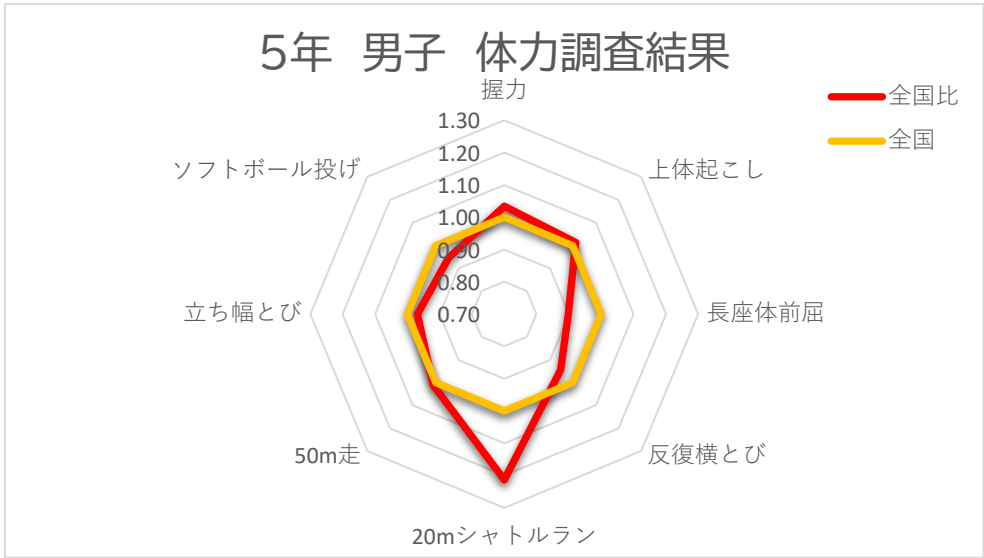
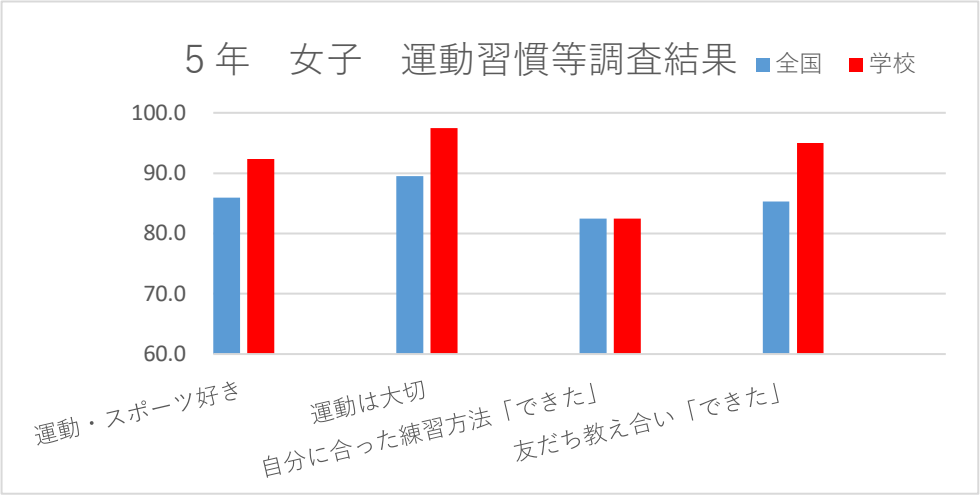
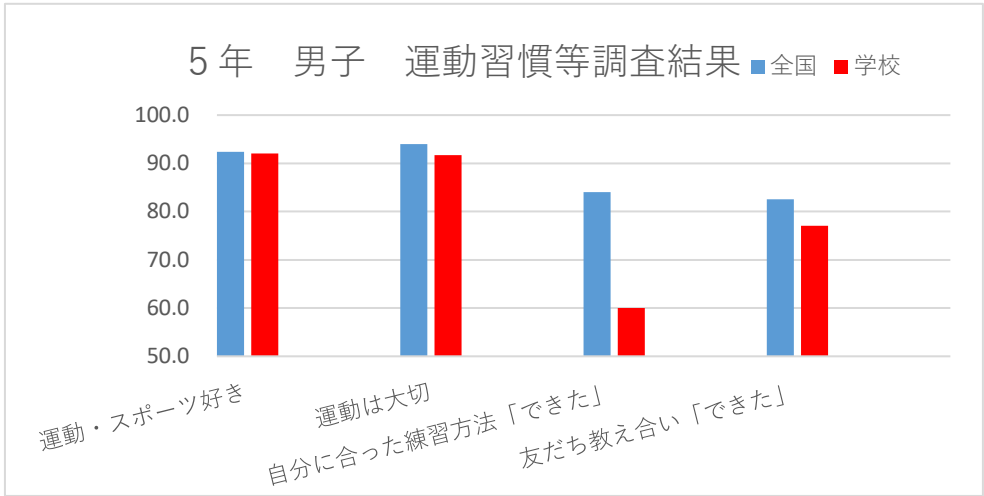
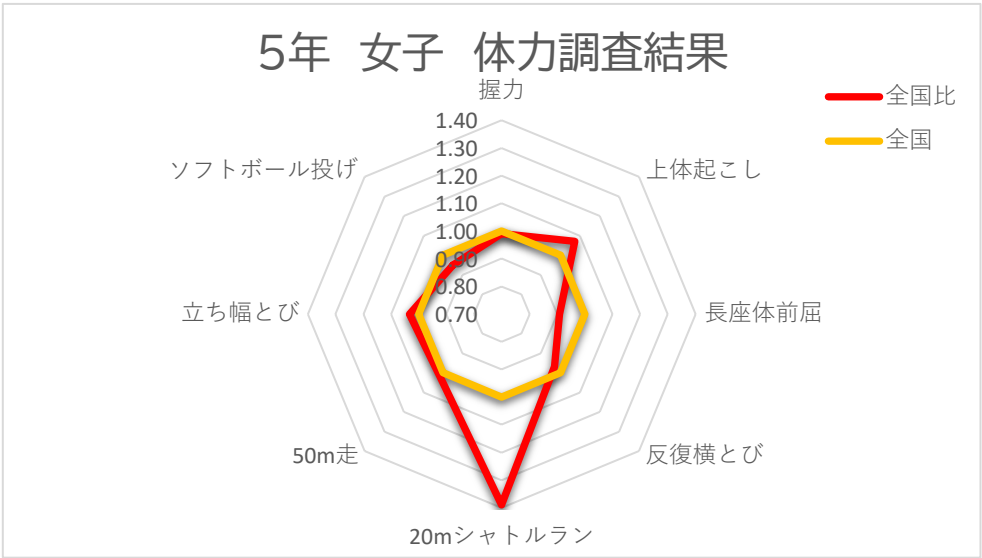


1. 現状（令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果より）



※全国の平均値を1として、学校の比を示しています。



※「運動・スポーツが好き」「運動は大切」「体育の授業は楽しい」については、肯定的な回答の割合を示しています。

2. 改善プラン

① 現状と課題

体育の授業が好き、楽しいと感じている児童の割合は高い値を示しているが、練習によりできたと感じている児童の割合が少ない。
持続的な活動において、全国の数値よりも高い値を示しているが、瞬発的な動きについては男女ともに、低い値を示しているものが多い。特に、ソフトボール投げ、長座体前屈は男女ともに全国に比べて、低い値を示している。

② 目標・めざす子ども像

「わかった、できた」と感じられる授業づくり。
授業を通して、自己の課題を見つけ主体的に取り組める児童の育成。
児童の柔軟性、瞬発力を高める。

③ 取組み

取り組み内容	対象学年	取組時期	元気力としての観点			
			体力	保健	生活習慣	食育
授業はじめの茨木っ子運動	全学年	通年	○	○	○	
体育の授業の学習・ふりかえりカードの活用	全学年	通年	○	○		
保健指導	全学年	各学期		○	○	○
朝ごはんのアンケート	全学年	各学期			○	○
兄弟学級交流会	全学年	1学期	○			
保健室のけがのデータから、けがを予防する授業づくり	全学年	通年	○	○		
マラソン大会と、体力づくりの取り組み	全学年	3学期	○	○	○	

[illegible]